

【高等学校等における BYOD による 1 人 1 台端末環境の導入に係る本校推奨機種について】

【2025 年 12 月】

本校高等部、石部分教室では、1 人 1 台端末の機種として iPad（第 10 世代以降の 128 GB）を推奨しています。

注）令和 8 年の新入生の購入に関しては、3 月開催予定の入学説明会にてご説明いたします。現段階で購入していただく必要はありません。よろしくお願いします。

<高等部>

1 概要

本校高等部は、普通科の単科として昭和57年度に設置され、現在、独立行政法人国立病院機構紫香楽病院入院生を含め、1年生32名、2年生32名、3年生31名の計95名が在籍している。在籍生徒のうち地域の中学校を卒業した生徒、小・中学校時に不登校の経験がある生徒や発達障害といわれる生徒の入学も増えている。また施設より通学する生徒が13名で全体の約1割在籍しており、生徒の卒業後の居住地域は全県にわたっている。生徒の障害状況を見ると、医療的ケアを必要とする生徒、肢体不自由の生徒、知的障害の生徒、自閉スペクトラム症の生徒など幅広く在籍しており、それぞれに特別な手だてを必要とする。進路先としては通所療育、福祉的就労、企業就労、進学などがあり、生活の場も含めてそれぞれの生徒にとって望ましい卒業後の生活の実現を目指している。

2 教育方針

高等部は、青年期を迎えて心身が不安定になり、多感になる生徒も多くなる時期である。また、卒業後に社会の一員となるために、主体的に生きていく力をつけるための学習を積む時期でもある。家庭や地域、進路先で環境が変化しても、自らが選択できる、また自分で考え、自分から行動できる力が自立することにつながる。主体的に生きていくためにはそれぞれに応じた自己理解や自己肯定感が求められる。自分でできることや支援をうけながらできることを増やすという段階から、障害理解も含めた自己課題認識を育む段階の生徒まで幅広くいる。そうしたそれぞれの自己理解・自己肯定感を育むことで主体的に生きていく力、自立する力につなげていけるよう、将来にわたった生活を見据えた視点に立って、個々の生徒の実態に合わせた教育を目指す。また、そのために、関係機関との連携を大切にしながら、様々な方向から個々の課題を共有し、学習活動及び進路指導に取り組む。

3 教育目標

- ◎ 自己理解を深め、自己肯定感を育みながら、主体的に生きていく力をつける。
 - (1) 健康的に日常生活を営む力や、余暇を楽しむ力をつける。
 - (2) 青年期にふさわしい身体をつくり、主体的に動かす力をつける。
 - (3) 基礎学力を充実させつつ、考える力、表現する力、応用する力をつける。
 - (4) 自他の人格を尊重した人間関係を築く能力をつける。
- 社会的・職業的自立に向け必要な能力や態度を身につける。

4 学部のスローガン

「みつけよう！自分らしさ」

5 教育課程の特色

学校生活の基礎となる学級編成は、1日のリズムや生徒同士のひびきあい、集団としての高まりを大切にする観点から、個々の生徒の目指すべき課題に合わせた集団編成を組み指導を行っている。

普通科：各コース

- 生活自立コース(肢体不自由)：・生理的基盤を安定させたり、身体機能を維持向上させたりすることを基本に、他者との関わりの中で、安心して過ごし、充実した生活を目指す。・自分の思いを膨らませ、その思いを他者に伝え、主体的な生活を築くことを目指す。
- 生活自立コース(知的障害)：・日常生活で必要な基本的な事柄ができるようになる。・自分の思いを膨らませ、その思いを他者に伝え、主体的な生活を築くことを目指す。
- 社会的自立コース(肢体不自由・知的障害)：・社会生活に必要な生活習慣を身につけるとともに、学習したことを生活や余暇、仕事の中で活用することができる力をつける。・自分の思いを伝え、他者からの働きかけを受け止めながら、社会の中で自分の目標や願いを実現しようとすることができる。
- 職業的自立コース(肢体不自由・知的障害)：・社会生活や就労に必要な生活習慣を身につけ主体的に生活する力をつける。・自己理解、他者理解を深め、集団や社会の中で、ふさわしい行動ができることとともに、社会の中で自分の目標に向かって生活を作っていくことを目指す。

高等学校に準ずる教育課程

高等学校に準ずる教育課程

〈高等部教育課程構造図〉



*「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。

高等部 教育課程表（令和7年度）

種別		肢・重	知・単／知・重	知・単／知・重／ 肢・重	知・単／知・重／ 肢・重
各教科 科目等	部・学年	高等部 生活自立コース(肢 体不自由) 1～3年	高等部 生活自立コース(知 的障害) 1～3年	高等部 社会的自立コース (肢体不自由・知的 障害)	高等部 職業的自立コース (肢体不自由・知的 障害)
各教科 等を含む せた指導	日常生活の指導	10	10	5	5
	作業学習	2	3	4	5
各教科	国語	1	1	2	2
	社会	0.5	0.5	0.5	0.5
	数学	1	1	2	2
	理科	0.5	0.5	0.5	0.5
	音楽	1	1	1	0.5
	美術	1	1	1	0.5
	保健体育	1	1	1	1
	職業	(*)	(*)	0.5	1
	家庭	(*)	(*)	0.5	0.5
	外国語	(**)	(**)	(**)	(**)
	情報	(**)	(**)	(**)	(**)
特別の 教科	道徳	(***)	(***)	(***)	(***)
総合的な 探究の時 間	総合的な探究 の時間	0.5	0.5	0.5	0.5
特別 活動	ホームルーム活動 (LHR/SHR)	5.5	5.5	6.5	6
	生徒会活動				
自立活 動	自立活動	6	5	5	5
週合計		30	30	30	30

* 「職業」、「家庭」は「各教科等を含ませた指導」の中で行う。

** 「外国語」、「情報」は、「各教科を含ませた指導」、「特別活動」、「自立活動」の中で行う。

*** 「特別の教科 道徳」は、「日常生活の指導」の中で取り扱う。

高等部 普通科各コース 週時程表(令和7年度)

生活自立コース

校時	授業時間	月	火	水	木	金
1	9:00～9:30	日常生活の指導				
2	9:30～9:55	SHR(朝の会)				
3	10:00～10:50	自立活動(運動)				
4	10:55～11:45	国語／数学	音楽	作業学習	理科／社会	作業学習
	11:45～13:30	給食・昼休み				
5	13:30～14:20	保健体育	総合的な探究の時間(学年)／LHR	作業学習(自立活動)	美術	国語／数学
6	14:25～15:00	SHR(帰りの会)、日常生活の指導				

社会的自立コース

校時	授業時間	月	火	水	木	金
1	9:00～9:30	日常生活の指導、SHR(朝の会)				
2	9:30～10:00	自立活動(運動)				
3	10:10～10:55	国語	数学	作業学習	理科／社会	作業学習
4	11:05～11:50	数学	国語		美術	
	11:50～13:30	給食・昼休み				
5	13:30～14:20	職業／家庭	総合的な探究の 時間(学年) ／LHR	保健体育	音楽	LHR
6	14:25～15:00	SHR(帰りの会)、日常生活の指導				

職業的自立コース

校時	授業時間	月	火	水	木	金
1	9:00～9:30	日常生活の指導、SHR(朝の会)				
2	9:30～10:00	自立活動(運動)				
3	10:10～10:55	国語	職業	作業学習	国語	作業学習
4	11:05～11:50	数学	理科／社会		数学	
	11:50～13:30	給食・昼休み				
5	13:30～14:20	美術／音楽	総合的な探究の 時間(学年) ／家庭	作業学習	保健体育	LHR
6	14:25～15:00	SHR(帰りの会)、日常生活の指導				